

腸管出血性大腸菌感染症患者の発生について

1 発 生 日

発生 令和7年8月22日(金) 速報 令和7年9月2日(火)

2 患 者 数

1名 (男、50代)

3 概 要

(1)経 過

8月22日(金) 患者(岡山市)は、軟便及び腹痛の症状を呈した。

8月23日(土) 患者は血便の症状を呈し、岡山市内医療機関(診療所)を受診。
同日、岡山市外医療機関(診療所)を受診。

8月25日(月) 患者は症状が改善しないため、岡山市外医療機関(診療所)を受診。

8月30日(土) 検査の結果、腸管出血性大腸菌(O157)によるベロ毒素産生が確認されたため、岡山市保健所に届出。

(2)その他

- ・患者の症状は消失している。
- ・感染源は不明。
- ・現在のところ散発事例と考えている。

4 参 考(患者発生状況)

区 分	令和7年1月1日から
岡 山 市	19人
県内(岡山市を除く。)	32人
県 内 合 計	51人

(岡山市の前年同時期の発生状況:17人)

◎報道に関しては、患者等のプライバシーの保護について、特段の配慮をお願いします。

◎岡山県は7月30日に県下全域に「腸管出血性大腸菌感染症注意報」を発令しています。

※ 腸管出血性大腸菌感染症を予防するために

手洗いの励行。(調理前、食事前、用便後)

十分な加熱。(75℃で1分間以上)

をお願いします。

【問い合わせ先】

岡山市 保健管理課 宮井・坂上 直通086-803-1251 内線5751